

令和8年7月23日
名古屋市信用保証協会

「ローカルベンチマーク活用講習会」を開催しました



名古屋市信用保証協会（会長 太田 宜邦）は、令和8年6月29日に職員の経営支援力の向上および地域の中小企業者への伴走支援体制の強化を目的として、独立行政法人中小企業基盤整備機構中部本部の藤井健太郎アドバイザーを講師にお迎えし、内部研修「ローカルベンチマーク活用講習会」を開催いたしました。

本講習会には、部署横断的な組織である「伴走支援パートナー」や女性経営者支援チーム「なごもっと！」等の関係職員25名が参加しました。

冒頭、伴走支援の在り方として従来の課題解決型に加え、「傾聴と対話」を通じて経営者自身による本質的な課題への気づきと自走化を促す『課題設定型』の重要性が増していること、また企業の自己変革を阻む「5つの障壁」を乗り越えていくためのツールとして経済産業省が推奨する「ローカルベンチマーク」が有効であることを学びました。続いて、令和5年度からスタートし今回で4回目の開催となる後継者育成塾（令和8年7月より開催）においても活用すべく、企業の「稼ぐ力の源泉」である知的資産や顧客提供価値を可視化するための効果的なアプローチ方法に加えて、ローカルベンチマークを活用した新製品開発やビジネスモデル再構築の事例を学びました。

当協会は、今後も中小企業者の良きパートナーとして、地域の中小事業者が本質的な経営課題に自ら気づき、自立的かつ柔軟に事業の維持・成長を図ることができるよう、伴走支援の一層の高度化に取り組んでまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

名古屋市信用保証協会 企画部 企画課

TEL：052-201-3041 e-mail：keieikikaku@cgc-nagoya.or.jp